

学術講演会・研究発表会・公開講座

弘前大学大学院保健学研究科 地域保健医療教育研究センター開設記念第1回市民公開講座
～地域保健医療のネットワークを作しましょう～ 開催のお知らせ

厚生労働省による国民健康・栄養調査において青森県は全国一の短命県とされ、とくに、がんや糖尿病などを基盤とする動脈硬化関連疾患による死亡が多くなっています。背景には青森県民ひとりひとりの健康を取り巻くさまざまな状況が複雑に関与しており、ひとつの原因を取り上げて対処していただくだけでは解決できません。弘前大学大学院保健学研究科では平成17年度に「すこやかコミュニティ支援センター」を設置し、社会貢献活動を行ってきましたが、平成26年度からこれを「地域保健医療教育研究センター」として組織強化し、教育・研究・地域貢献活動をさらに推進することによって、「保健医療の課題解決」に向けて活動していくことになりました。

第1回の市民公開講座では、「地域包括医療に向けての多職種連携とその重要性」をテーマに、地域住民の健康を守るために、どのような医療を提供し利用してもらうか、どのようなネットワークを構築するかを考えます。

1. 日 時： 2014年4月19日（土） 13:15～17:10
（開場： 13:00）

2. 場 所： 土手町コミュニティパーク 1階 多目的ホール
（弘前市土手町31）

3. 対 象： 一般市民の方
※事前申込は不要です。

4. プログラム：

13:00 受付開始

13:15 開会

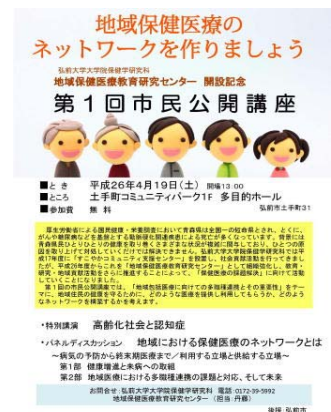
・研究科長あいさつ 木田和幸（弘前大学大学院保健学研究科長）

・基調講演1 すこやかコミュニティ支援部門から
尾田 敦（弘前大学大学院保健学研究科教授）

・基調講演2 多職種連携医療推進部門から
真里谷 靖（弘前大学大学院保健学研究科教授）

・特別講演 高齢化社会と認知症
山田 順子（弘前大学大学院保健学研究科教授）

15:00 休憩



15:10 パネルディスカッション

「地域における保健医療の連携ネットワーク」

～病気の予防から終末期医療まで／利用する立場と供給する立場～

・第1部 健康増進、未病へのとりくみ

パネリスト 中路 重之 氏（弘前大学医学部社会医学講座）

川村 明裕 氏（青森銀行）

野呂 美奈子 氏（健生病院栄養科）

・第2部 地域医療における多職種連携の課題と対応、未来

パネリスト 福士 明美 氏（弘前大学医学部附属病院）

須藤 悟 氏（弘前市健康福祉部）

工藤 寿彦 氏（マルマンコンピュータサービス株式会社）

17:10 終了

※ 当日は、展示コーナーで筋肉量測定体験ができます。

5. 参加費： 無 料

6. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科 地域保健医療教育研究センター

後 援： 弘前市

申込み・問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科
地域保健医療教育研究センター 丹藤 雄介
TEL・FAX：0172-39-5992
E-mail：ytando@cc.hirosaki-u.ac.jp

**2014年弘前大学白神研究会 初夏の観察会
～白神山地の地すべりとサワグルミ林～ 開催のお知らせ**

1. 日 時： 2014年6月7日（土）10:00～14:00（雨天決行）

2. 集 合： アクアグリーンビレッジ駐車場
（車をお持ちでない方はお申し出ください。
9:00弘前大学正門集合で送迎可能です。）

3. コース： 鱒ヶ沢町西目屋村暗門 フナギノ平

4. 対 象： 小学4年生以上の方
（小中学生は保護者同伴をお願いします）

5. 参加人数： 20名

6. 服装・装備： 服装はハイキング用で十分です。手袋、帽子があるといいです。雨具は必ずお持ちください。上下別の合羽が理想的です。傘は不向きです。履き物は、トレッキングシューズ、ハイキングシューズあるいは長靴がいいでしょう。虫除け、かゆみ止めをお持ち下さい。お弁当、飲み物もご持参ください。

7. 参加費用： 1人1,000円（テキスト・傷害保険代金）

*会員の方は500円です。

8. 申込： 申込締切までに弘前大学白神自然観察園 山岸へ、電話またはFaxにてお申し込みください。

TEL・FAX：0172-39-3706

9. 申込締切： 2014年6月4日（水）

※定員になり次第締め切ります。

10. 主催： 弘前大学白神研究会

申込み・問い合わせ先： 弘前大学白神自然観察園 山岸
TEL：0172-39-3706

白神マタギ舎 牧田 肇
TEL：0172-88-1881

弘前大学資料館企画展示開催のお知らせ（再掲）

弘前大学資料館では、富田晃写真展『いのり～東日本大震災で亡くなられた方々の魂に捧ぐ～』と題した企画展示を開催します。2011年3月11日に発生した地震と津波により、東北地方の太平洋沿岸の町々は壊滅し、多くの方が亡くなりました。本展示は、東日本大震災で亡くなられた方々を弔い、震災の事実を人類の記憶に残すため、夜、瓦礫の中をマッチを灯しながら歩き長時間露光で撮影することにより、亡くなられた方々の魂をも写し込もうとした写真を展示しております。みなさまのご来館をお待ちしております。

1. 日時： 2014年4月1日（火）～5月16日（金）
（日・祝・休日は休館）
10:00～16:00

2. 場所： 弘前大学資料館 企画展示室

3. テーマ： 富田晃 写真展『いのり～東日本大震災で亡くなられた方々の魂に捧ぐ～』

問い合わせ先： 弘前大学教育学部 美術教育講座
TEL：0172-39-3389
E-mail：atomita@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館
TEL：0172-39-3432
E-mail：jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp



弘前大学資料館 平成26年度 第1回企画展
富田晃 写真展 いのり
～東日本大震災で亡くなられた方々の魂に捧ぐ～
同時開催『東日本大震災復興支援活動報告パネル展』
会期：2014年4月1日（火）～5月16日（金）
10:00-16:00（日・祝・休日は休館）
会場：弘前大学資料館企画展示室
2011年3月11日に発生した地震と津波により、東北地方の太平洋沿岸の町々は壊滅し、多くの方が亡くなりました。本展示は、東日本大震災で亡くなられた方々を弔い、震災の事実を人類の記憶に残すため、夜、瓦礫の中をマッチを灯しながら歩き長時間露光で撮影することにより、亡くなられた方々の魂をも写し込もうとしたものです。
問い合わせ
弘前大学教育学部美術教育講座 TEL:0172-39-3389
メール atomita@cc.hirosaki-u.ac.jp HP http://www.cc.hirosaki-u.ac.jp/ser/atomita/index.htm
弘前大学資料館 TEL:0172-39-3432
メール jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp HP http://libsys.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

弘前大学大学院保健学研究科現職者研修実行委員会 編
「被ばく患者対応トレーニングマニュアル」（A4判、52頁、本体価格1,400円＋税）を出版しました。

～紹介文～

本書は、大学や病院などの機関が被ばく患者対応トレーニングを開催するための、本邦初のマニュアルです。弘前大学は文部科学省の支援を受け、平成20年から5か年計画で「緊急被ばく医療支援人材育成及び体制の整備」を大学院保健学研究科を中心としてスタートさせました。教職員は、被ばく医療に関する情報を収集するとともに国内外の被ばく医療関連機関でのトレーニングを精力的に行い、被ばく医療の知識とスキルを自ら研鑽し習得してきました。これまで被ばく医療研修は、専門的な機関や組織により行われているものがほとんどでしたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う原子力災害以来、その重要性はますますクローズアップされています。弘前大学では平成22年から、主に看護職者と診療放射線技師を対象に緊急被ばく医療現職者研修を開催してきました。本書はその研修内容をもとにまとめられたものであり、多くの関連施設でトレーニングを行う際に参考になることを願って刊行されたものです。

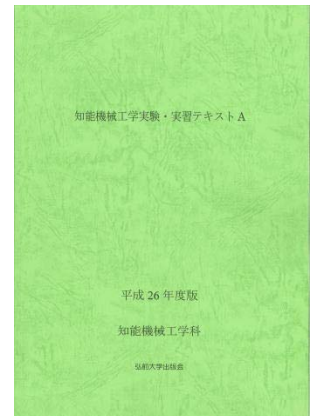


ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

理工学部知能機械工学科 共著「知能機械工学実験・実習テキストA（平成26年度版）」
（A4判、137頁、本体1,500円＋税）を出版しました。

～紹介文～

本書は、弘前大学理工学部知能機械工学科で2年生を対象に2014年4月から開講される知能機械工学実験Aおよび知能機械工学設計Aの実験指導書である。機械工学を学ぶ学生が基礎として身につけておくべき項目のうち、機械材料に関する項目として「材料特性とその評価」、流体力学の基礎に関する項目として「流体特性とその測定原理」、機械力学や機械制御に関する項目として「メカトロニクスの基礎」、制御回路に関する項目として「制御電子回路の基礎」、をとりあげる。また、機械製図の基礎として「製図とCAD」の各項目をとりあげ、実験と実習を通して学習するための資料を提供する。



受講の方は大学生協でお買い求め下さい。

理工学部知能機械工学科 共著「知能機械工学実験・実習テキストB（平成26年度版）」
（A4判、95頁、本体1,000円＋税）を出版しました。

～紹介文～

本書は、2014年度に弘前大学理工学部知能機械工学科で3年生を対象に開講される「知能機械工学実験B」、「知能機械工学設計B」、「創造実習」の実験指導書である。機械工学を学ぶ学生が身につけておく項目のうち、(i) 材料システム評価、(ii) 熱輸送の科学と技術の基礎、(iii) 動的システムの計測と制御、(iv) 薄膜微細加工、(v) 設計製図、(vi) 創造実習を取りあげ、実験と実習を通して学習するための資料を提供する。



受講の方は大学生協でお買い求め下さい。

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提

案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
TEL：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会からのお知らせ

国立大学協会のホームページに、平成25年度 国立大学法人等オープンセミナーの際に行われた池上 彰 氏による特別講演の動画が掲載されました。国立大学職員を目指す皆様、ぜひご覧ください。

※ 動画掲載は、6月末までです。

○「特別講演 池上彰氏」の動画：
<http://www.janu.jp/saiyou.html>

○国立大学協会ホームページ：
<http://www.janu.jp/>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。
<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。
◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ
E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498、内線：3029